様式の歴史
—西洋美術—

岩波写真文庫　23

エジプト．ルクソールの神殿浮彫（新王朝）．

はじめに

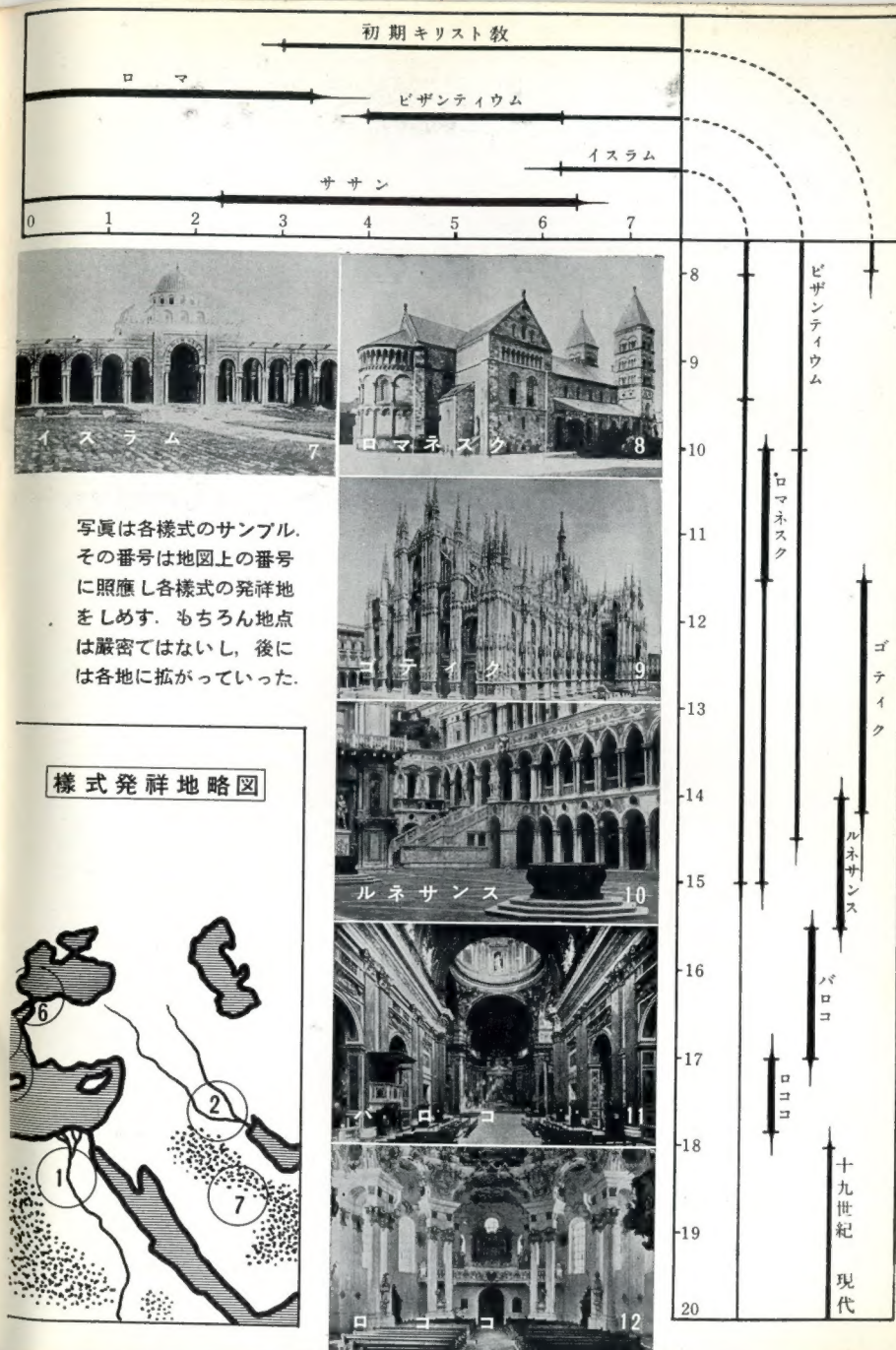
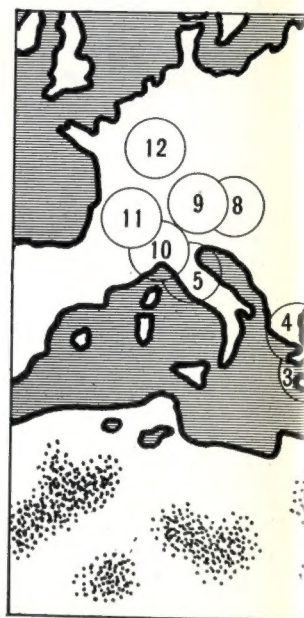
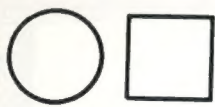
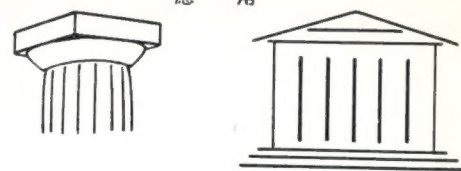
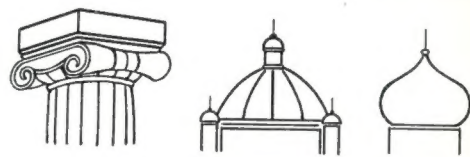
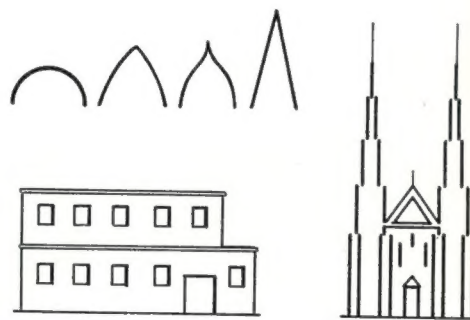
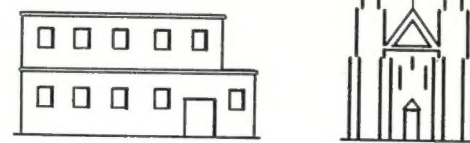
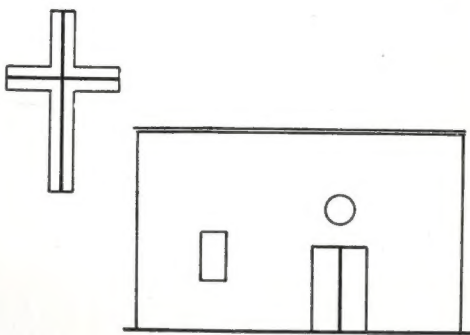
職場に、街頭に、家庭に、――建築に、彫刻に、絵画に、工藝品に、人間の手で作られた「かたち」を見る。「かたち」はけっして偶然の産物ではない。「かたち」は人間の知性と情感とが作りだしたものである。材料や、效用や、技術の背後に美の理念が息づいている。そしてその理念が変容するにつれて、「かたち」の様相が変移し、そこに民族的な、或いは時代的な「様式」が成立する。新しい時代は新しい様式を創造しようとする。しかし無からの創造はあり得ない。それは傳統の上に立って、はじめて可能である。ともすれば今まで心なく見すごしてきた身辺の「かたち」をみつめて、もしその意義と成立とを理解し、傳統と創造との祕密をわがものとするならば、私たちの精神生活はどんなに豊かなものとなり、私たちの人間理解はどんなに深められることだろう。この本を編集した意図はここにある。民族と時代を通して流れてきた様式の変遷をたどり、直観的なものに即して人間精神と人類文化の構造を探る。それを目で見て会得しようというのである。これもまた一つの美術史である。

監修　矢崎美盛　澤柳大五郎　　編集　岩波書店編集部　岩波映画製作所

目　次

岩波写眞文庫　23

定価 100 円　1951年1月25日　第1刷発行　1961年1月20日第12刷発行　発行者 岩波雄二郎　印刷者 米屋勇　印刷所 東京都港区芝浦2ノ1半七写真印刷工業株式会社　製本所　永井製本所　発行所 東京都千代田区神田一ツ橋2ノ3株式会社岩波書店

單位は100年
サイス
プトレマイオス朝
エトルリア
ロ　マ
ギリシア上代
古典期
ヘレニスムス
新バビロニア
（ペルシア）アケメノス
パルティア
初期キリスト教
ロ　マ
ビザンティウム
イスラム
ササン
エトルリア（イタリア）
ホメロス時代
アッスュリア
新王朝
クレタ＝ミュケナイ後期
古バビロニア
中王朝
（エジプト）
（ギリシア）
（メソポタミア）
ビザンティウム
ロマネスク
ゴティク
ルネサンス
バロコ
ロココ
十九世紀
現代
ロ　マ　5
ビザンティウム　6
イスラム　7
ロマネスク　8
ギリシア　4
ゴティク　9
クレタ・ミュケナイ　3
ルネサンス　10
バビロニア
アッスュリア　2
バロコ　11
エヂプト　1
ロココ　12
周囲は年表．3頁は紀元前．2頁は紀元後．紀元前は各線が地域べつになっているが，紀元後は各線が各様式に相当し，地域はだいたいヨーロッパ．
写眞は各様式のサンプル．その番号は地図上の番号に照應し各様式の発祥地をしめす．もちろん地点は嚴密てはないし，後には各地に拡がっていった．
様式発祥地略図

美の観念とそのあらわれ

原理

応用

正

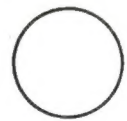
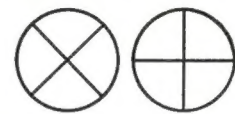
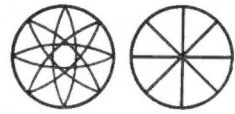
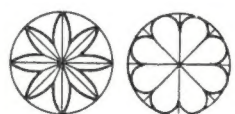
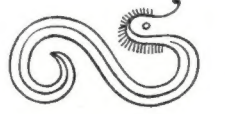
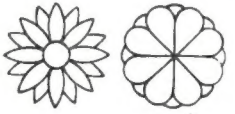
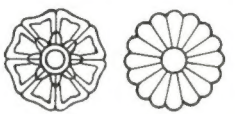
曲

垂

直

水平

黄金分割

A　B

A：B＝B：(A＋B)

かたちの展開

意　　匠

（中央は建築平面）

ギリシア

ビザンティウム

ゴティク

バロコ

古　代

エ ジ プ ト

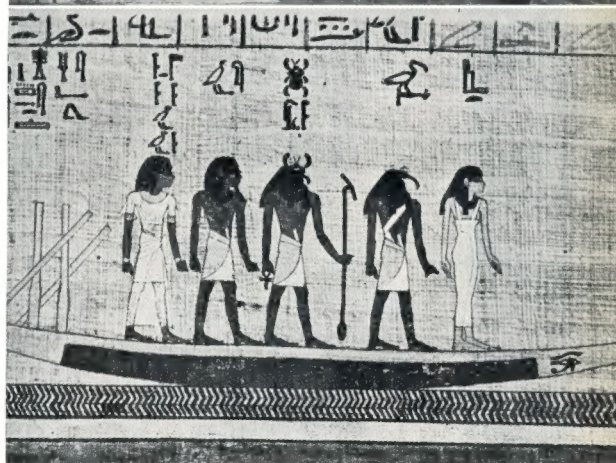
多神教．超自然性，抽象性，不動性．建築は神殿と墓，自然に対する畏怖と反抗．彫刻は神と支配者，威厳の表現．絵画浮彫は神事や王の事蹟．説明的で観念的．3000年にわたりあまり変化しない．

→ ルクソールの神殿（新王朝）．楣式．平屋根．窓がない．柱．装飾が多い．

→ パピロスに描いた絵．顔や手足は横向きであるのに眼と肩は正面向き．彩色は原色で，陰影はない．

→ トゥト アンク アモンの墓からでた椅子（新王朝）．

← カフラ王の坐像（古王朝）．鼻から臍へ通る線（正中線），はいつも両足の中間に落ちる．視線は水平．

↑ コマ絵は柱頭．植物から轉化した意匠のもの多し．

バビロニア，アッスュリア，ペルシア

宗教的(二元論)，超自然的な性格はエジプトに似る．建築は宮殿．王権を象徴した浮彫で飾られる．動物の表現が多く，また優秀．丸彫や絵画の遺品は少い．ペルシアの末期までたいした変化はない．

→ ダレイオス王のペルセポリスの宮殿(ペルシア)．その入口．楣式．平屋根．

← 鷲の翼をもった牡牛．写実的な部分を空想的に構成す．彩色煉瓦でつくる．

← 右 怪獣と闘うダレイオス王．エジプトとちがって肩も横向き．怪獣は悪の象徴．

← 左 戦車．遠近の関係はまだ不明瞭．狩猟や遠征の光景を表現する浮彫が多い．

↑ コマ絵はバビロニアの王．頭に装飾的な髷をかぶる．

古代

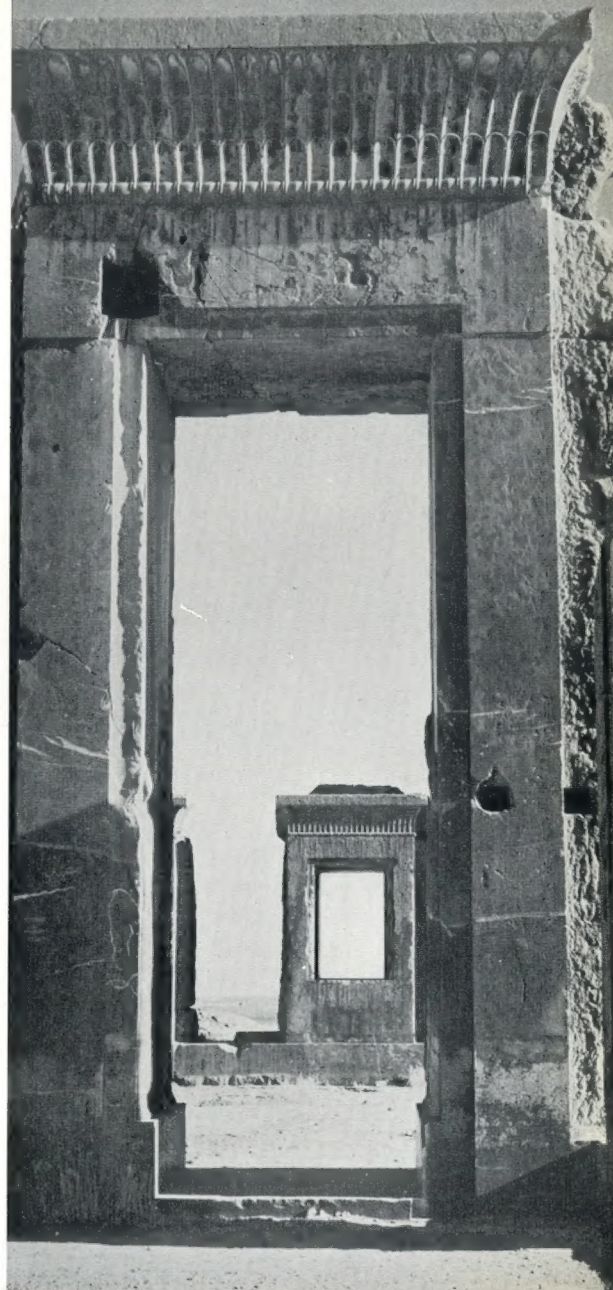
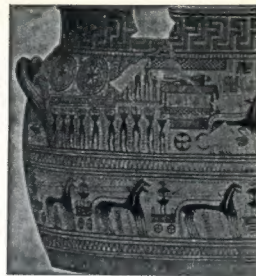
クレタ=ミュケナイ.

美術の諸様相が一変する. 自由で規則的でない. 自然的な表現. 建築は宮殿. プランも不規則. 重層で小室が複雑にいりくんでいる. ラビリント(迷宮)の名はここから由來する. 大彫刻はない. 絵画は印象的. 運動の表現もある.

→ クレタ島のクノソスの宮殿(修復). 複雑につながる小部屋. 上方の太い柱.

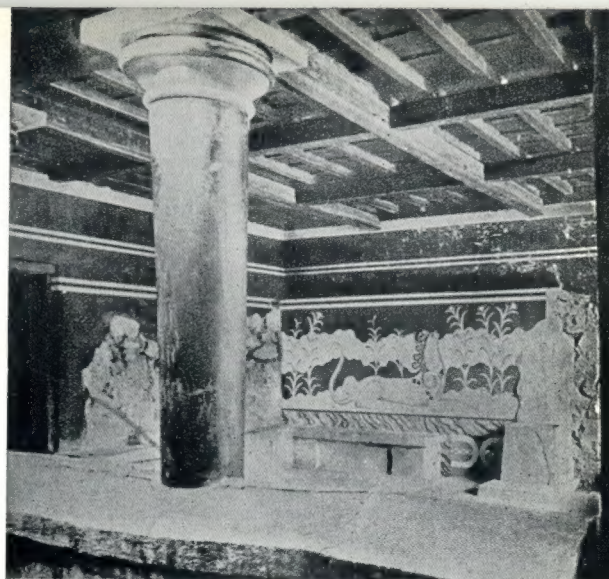
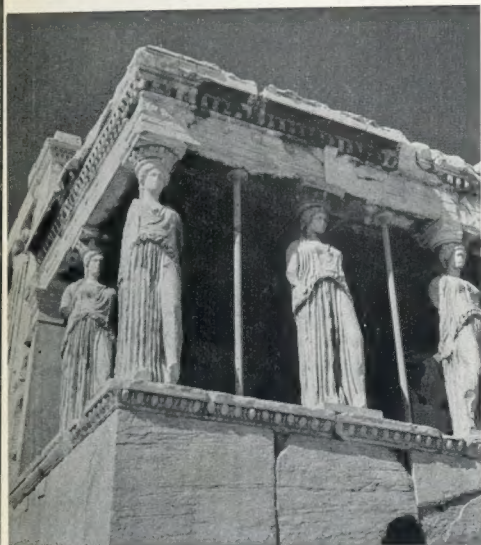
→ 同宮殿の壁画. 自然を見たままに描写す. エジプトの観念的なのとは違う.

→ ミュケナイのヴァフェイオからでた杯. 純金押出. いきいきした運動の表現.

↑ コマ絵はクレタ島出土の壺. 海棲物の写生が多い. 海上の民族の所産である.

ギリシア上代.

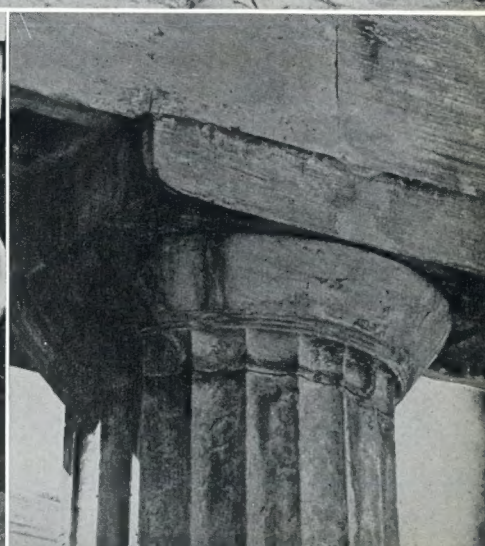
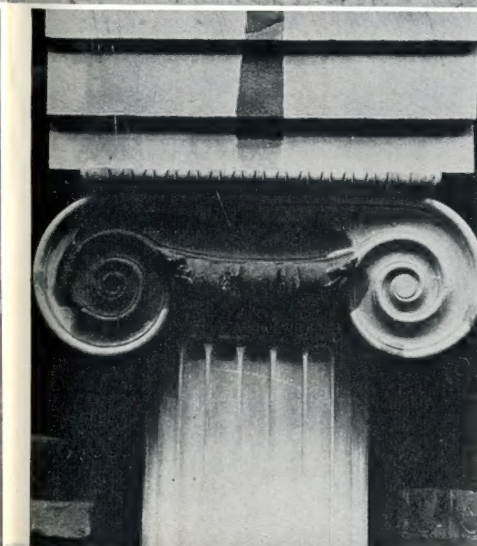
これからが本來のギリシア美術史. 同じ場所とはいえ, 不規則で奔放なクレタ=ミュケナイのものとはまるで違う. 秩序を重んじ形式の完全を理想とした. 上代は準備期でまだかたい表現だが, すでにその萌芽が見られる. ‘美は数の関係に存する’ とピュタゴラスはいった.

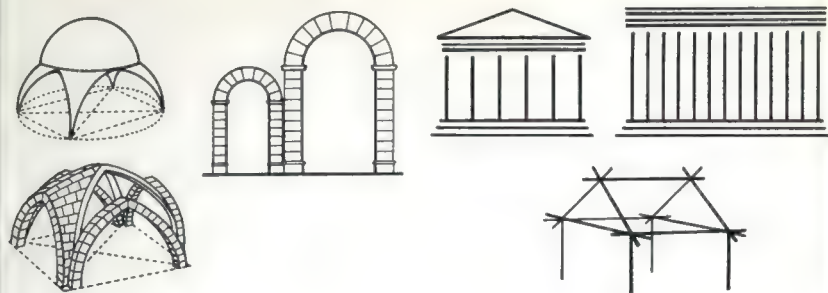
← アテナイのアクロポリスからでた少女像. 唇の端が反って微笑しているようないわゆるアルケイック・スマイル. イオニア風の優美な表現. すでに古典期も近い. 彩色残る.

← ギリシアの壺は, 幾何学式(ディピュロン式. コマ絵参照)から, 黒像式(右), 赤像式(左)を経て白地線描式のものに進む. この時代の絵画は大部分失われたが, 壺絵を通してその優秀がうかがえる.

ギリシア古典期

ギリシアの神殿は神々の住居．人間はなかに入れないから，外観の美を重んじる．ギリシア建築の様式は，円柱の形で類別される．ドリス式（下段右）とイオニア式（同中）とは古典期に完成．コリントス式（同左）は末期に現われる．柱頭の形式は現在までほとんどこの三様式を出でない．

↑ パルテノンの北にあるエレクテイオンの露台．カリアティデス（女人柱）．美しい六体の女身が柱のかわりに屋根を支える．

↗ アテナイの丘のパルテノン神殿．プランは単純，整正（6頁）．楣式で，切妻屋根完全な比例．視覚の錯覚まで修正する細心の配慮．'大理石に結晶した美の理想．'

上段右より．アテナイの少女ヘゲソの墓碑．シヌエッサのアフロディテ(ヴェヌス)．サモトラケ島のニケ(勝利の女神)．メロス(ミロ)島のアフロディテ．下段右はパルテノンのフリーズ(軒まわり)の浮彫．女神アテナの祭祀の行列の一部である．下段左はハリカルナソスのマウソレウム(王廟)の浮彫．女族アマゾーネとギリシア人との闘いを現わす．

嚴密な写実にもとづいた理想的な人体美の表現．神々も人間的．ギリシア人は人間性を重んじた．完美な人体の有機的な動き，それをつつむ衣の襞の流暢な流れ．無類の表現．5世紀の調和ある神性の表現は，4世紀の人間情意の表現を経て，ヘレニズムの誇張した写実へと移ってゆく．右より左へ見てゆけば，この各期の性格の変遷がうかがわれる．

建築構造は'楣式'と'拱式'としかない. 西洋建築はそのいずれか, 或いは両者を併用する. 楣式は柱と楣(まぐさ)(水平材)で構築. 壁はなくてもよい. 窓や入口は矩形になる. 直線的. ギリシア, エジプト, 日本. 拱式は石や煉瓦で積みあげた壁で構築. 柱はただ装飾. 開口部をつくる曲線は迫持(せりもち)(アーチ)の形になる. ロマ, ビザンティウム, ゴティク.

ロマ美術の独創は主として建築に現われる. 先住民エトルリアの拱式構造を発展させた. 後世への影響はすこぶる大きい. 彫刻はほとんどギリシアの原作の模写であり, 絵画もギリシアを継承する (ロマの絵画はおもにポムペイに残っている.)

コンスタンティヌス大帝の巨像の首. 首だけの高さが 2.40 m.

マルクス・アウレリウス帝の戦捷記念柱. 柱身のまわりには絵巻物のように, 連続した浮彫をラセン状にめぐらしてある.

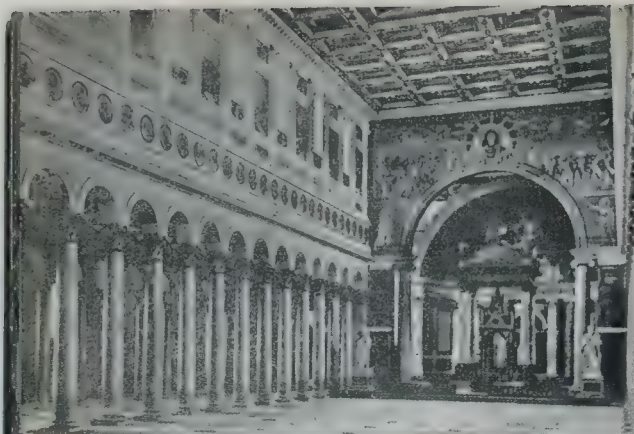
ロマのパンテオン. 直徑は高さに等しく, 半球狀の円蓋の高さはその半分. 內部の採光はただ大円蓋の頂点の円窓による.

コンスタンティヌス大帝の凱旋門. 楣式と拱式との結合. ヘレニスムを継承し, さらに繁縟になっている. 豪荘な意匠はロマ帝國の尊大を誇示. 後世にナポレオンがこのまねをした.

→ ラヴェンナのガラ・プラキディアの墓の内部. 初期キリスト教期の地下礼拝堂(カタコンベ)の形を保存している.

→ ラヴェンナのサン・ヴィターレ寺のモザイク. 著色の石の細片で作る. 境線と色彩とに独特の効果.

→ 石棺の浮彫. 手法はロマの地方的様式の傳統をひくが, キリスト教的主題を象徴主義的に表現する.

↑ コマ絵は象牙の椅子. キリスト教図像がしだいに確立. こんな工藝品に至るまで頻繁に適用される.

東ロマ帝國の首府となったビザンティウム. ここでキリスト教美術の様式が, 東方の影響をうけながら成立. 建築プランは十字形. 中央に円蓋. 絵画にかわるモザイク. 工藝品の浮彫が彫刻を代表.

← ロマのサン・パオロ寺院の内部. ギリシア神殿は神の住居だったが, ギリスト教会は信者の集会する場所. 廣い空間の必要. そこでロマの公共建築(バシリカ)の様式をとって教会とした. コマ絵はバシリカの外部.

← イスタンブールのハギアソフィア寺院. ロマのパンテオンは円い軸部に円蓋をのせた. これは四角い軸部に円蓋をのせている. 内部は23頁を見よ.

← ヴェネツィアのサン・マルコ寺院. 各種の様式がまじりあった混合の様式.

中　　世

イ　ス　ラ　ム

回教は神像をもたぬ．美術はただ建築と壁面装飾．極端に空白を嫌う．今も回教圏で厳守される傳統．

➡ 右側
カイト・ベイの回教寺院（モスク）．円蓋は葱型に近づく．独特な塔（ミナレット）の姿．

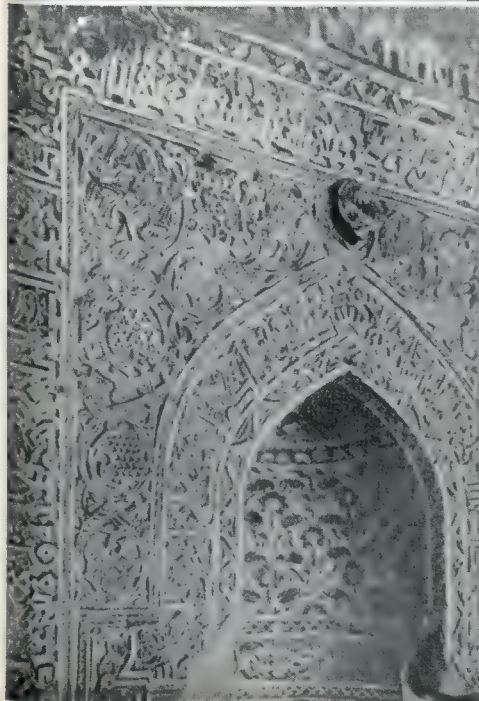
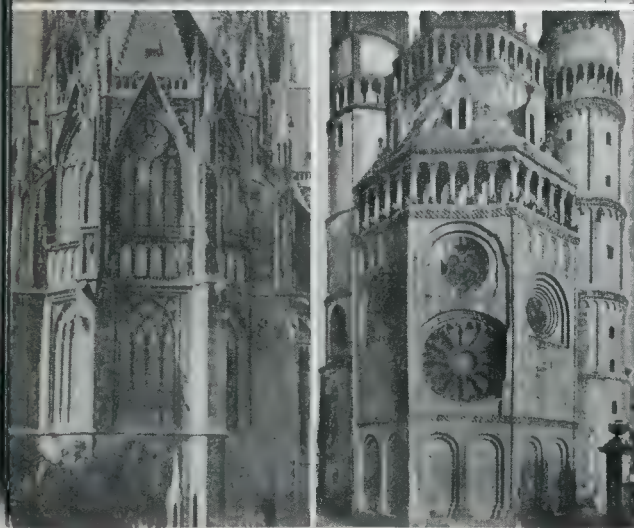
➡
モスクの中庭の通路．頻繁で複雑なアーチの使用．

➡ 左側
モスクの中庭．ジグザグ（鋸歯型）への偏愛を見る．

■
壁面装飾．すきまのない装飾．文字と植物の図案．

■
コマ絵はミラブ（祈禱所）．メッカの方向をむく配置．

■
ハギア・ソフィアの内部．キリスト教寺院をモスクに改装したもの（21頁）．

■
王廟の内部．柱頭，アーチ，格子などに特色あり．

中　世

ロ マ ネ ス ク

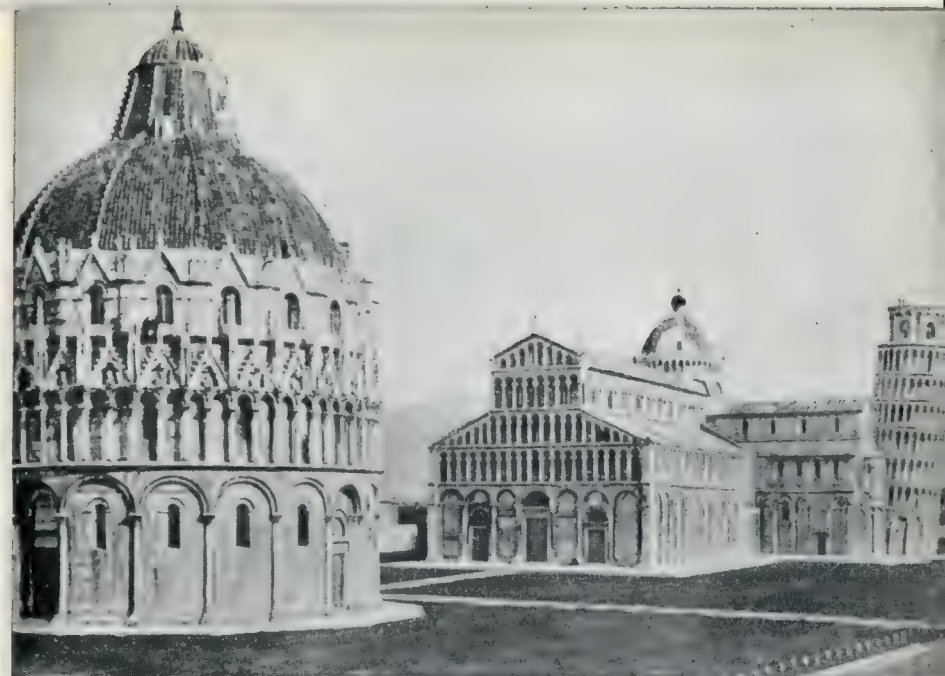
ビザンティウム式とロマの地方的様式からロマネスク(ロマ風)が生まれる.

➡ ピサの大聖堂全景. 洗礼堂, 本堂, 鐘楼(有名な斜塔)が伽藍を構成す.

➡ トゥルーズの大聖堂の入口. 彫刻は建築の一部となり, その正面を飾った.

⬆ コマ絵はシュパイエルの大聖堂. 洗礼堂, 本堂, 鐘楼は一つの建物に合さる.

⬅ ウェズレーの教会の内部. まだ尖っていないアーチ.

⬅ ロマネスク(右. ウォルムスの聖堂)からゴティク(左. レーゲンスブルクの聖堂)への移りゆき.

正面．上へ上へと
向って伸びてゆく．

ケルンの大聖堂．
ドイツ・ゴティク．

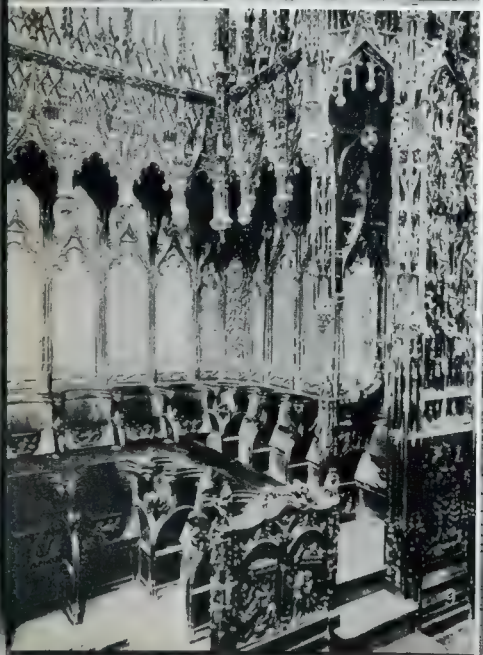
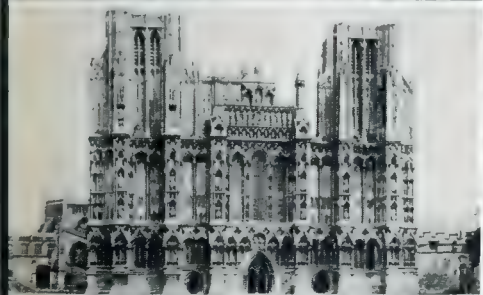
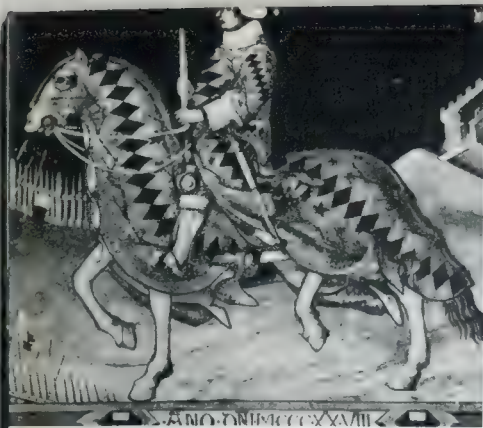
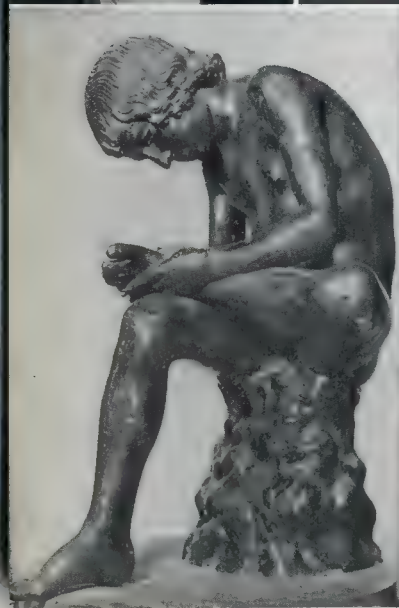
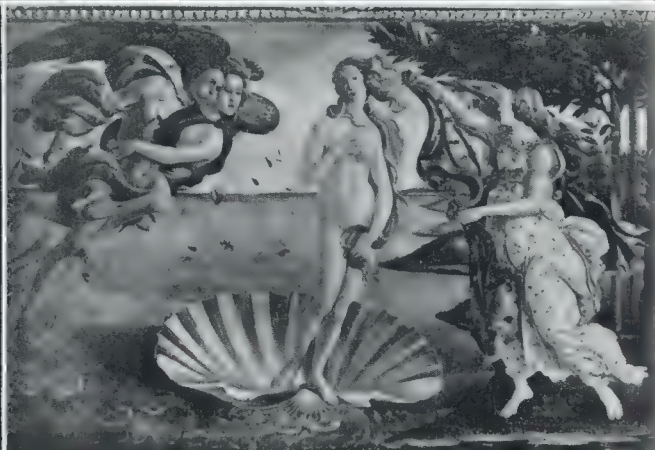
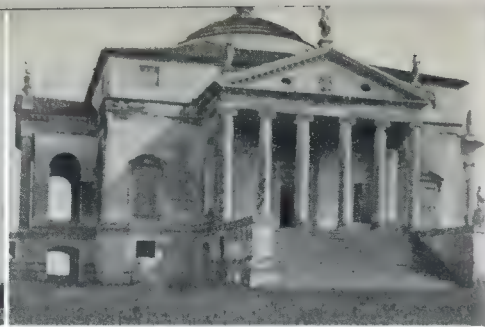
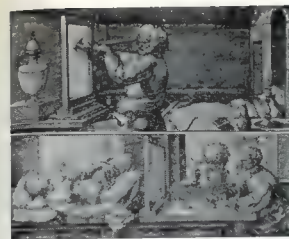
彫刻も建築といっ
しょに伸びてゆく．

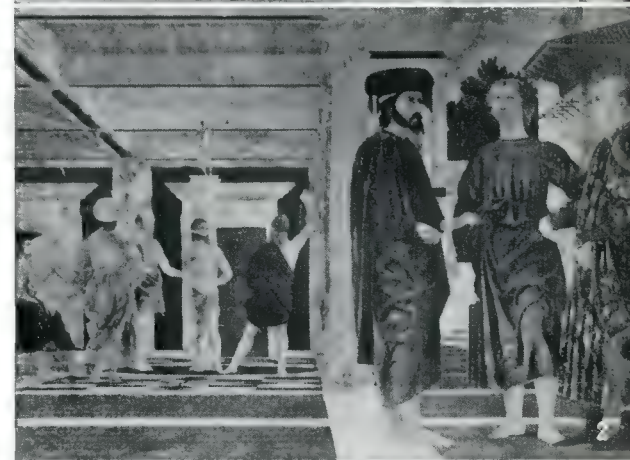
内陣．アーチが尖
る（25 頁と比較）．

ランスの大聖堂．フランス・ゴティク．

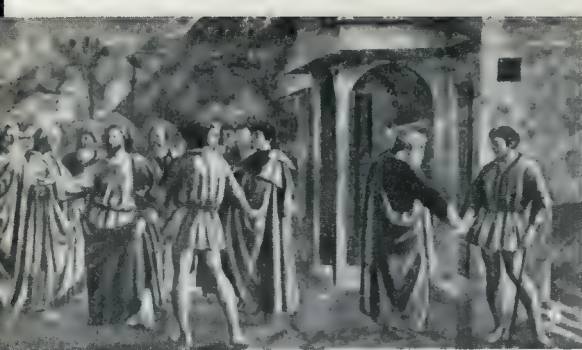
中　世　　**ゴ テ ィ ク.**

ゴート(今のフランス)からゴティクが生まれる．アーチの発達が極点に達し，やがて乱用される．絵画は建築から離れて，額面画になる．窓は色硝子で飾られる．

1) 薔薇窓(ロザース)(ストラスブール)．2) 寄進者夫妻(ドイツ，ナウムブルク)．3) 聖母と聖女(フランス，アミアン)．4) 絵硝子(ヴイトロー)の窓(パリ，サント・シャペル)．5) カ・ドーロ宮(ヴェネツィア)．6) イタリア，ゴティク(シエナの聖堂)．7) ゴティク絵画(シモネ・マルティニ作)．8) イギリス・ゴティク(ウエルスの聖堂)．9) ゴティク聖堂の一隅(フランス，アミアン)．

ルネサンス.

ギリシア，ロマの人間性の復活と科学精神の目覚めからルネサンスが生まれる．深刻な自然の観察．遠近法の研究．古典美の再認識．近代精神の発芽．

遠近法はジョットオ(1)からピエロ・デラ・フランチェスカ(2)を経て，レオナルド(3)にいたって完成する．コマ絵はその苦心の情景(デュラー)．

ギリシア期の作品(左側)から直接に学んだ二三の作品(右側)．上段はペストゥムの神殿とパラディオのロトンダ．中段はメディチのヴェヌスとボッティチェルリのヴェヌス誕生．下段は'とげ抜き'(スピナリオ)とブルネレスキの浮彫．

ラファエルロ作．アテナイの学園．

近　　世

ルネサンス

1) メディチの館(ミケロッツォ作). 独立した部分. 全体への統一. 渾然たる形.

2) メディチの墓(ミケルアンジェロ作). メディチ家はルネサンス文化のパトロン.

3) フィレンツェの大聖堂. 円蓋はブルネレスキ, 鐘楼はジョットオ設計と傳う.

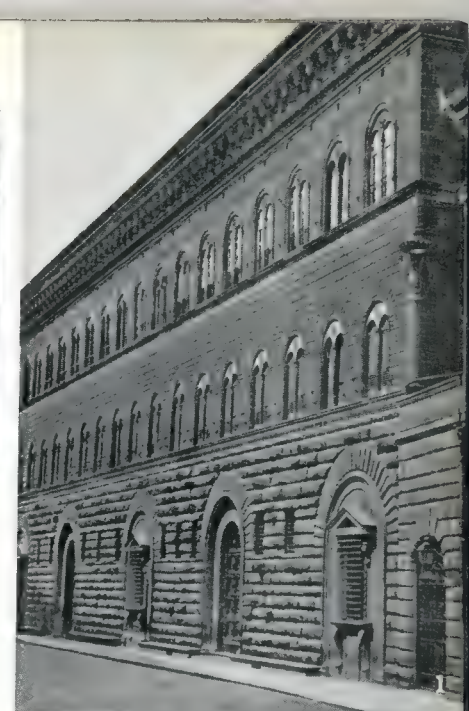
4) 一本の垂直線を軸とする四面同形の中央円蓋聖堂はルネサンスの理想だった.

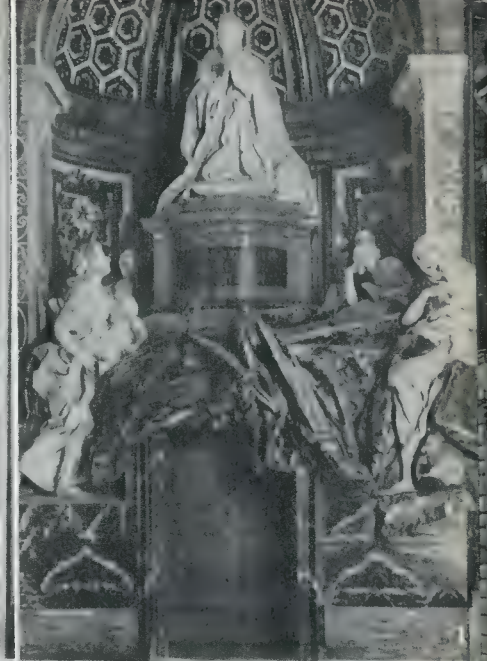
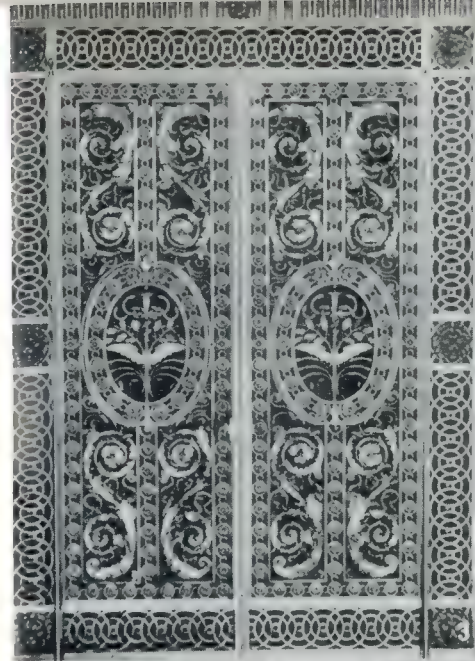
5) ラウレンティアナ図書館の階段(ミケルアンジェロの設計). 直線的構造美.

6) カルミネ寺の壁画(マサッチオ作). 15世紀の画家たちが模写し勉強した傑作.

7) サン・マルコ僧院の壁画(フラ・アンジェリコ作). 中世的情調の近世的表現.

8) ウルビノのヴェヌス(ティツィアノ作). 多くの追随者を生んだ構図のリズム.

コマ絵は聖ロレンツォ像(ドナテルロ作). 触覚的な彫塑性に溢れる忠実な自然把握.

近　　世

バ　ロ　コ

ルネサンスの静かに落ちついた整正にたいして騒々しいまでの動揺と過剰．直線にたいする曲線．生命の横溢．バロコとよぶ(バロコとは元來論理学の用語で歪曲したものをさす)．部分は独立性を失なって全体のなかへとけこむ．輪郭は不分明になり外にはみだす．建築も彫刻も絵画も，その限界を失なっていりまじる．

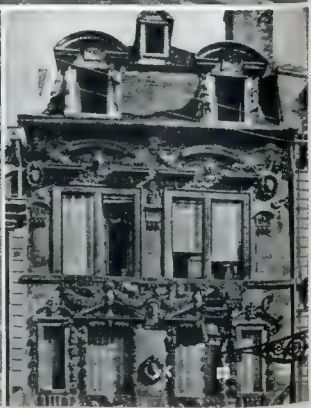
1) 彫刻(ベルニニ作)も絵画的に．2) 建築の内部(ロマ，サンタ・マリア・ヴァリチェラ寺院)．独立を失なった構成部分．3) 鉄の扉．4) 簞笥．機能を無視している．5) 邸宅の内部(ドイツ，ブリュール城)．区劃が除かれ，空間が拡大する．6) 中庭(ロマ，ボルゲーゼ宮)．構造の輪郭が彫刻でおおわれてしまった．

近　　世

バ　ロ　コ

ルネサンスが線的で，輪郭的であるのにたいしてバロコでは絵画的で動的になり，物の固有色が失われる．構図を明暗でまとめる手法．風景や静物が独立した主題となったのもこの時代からである．

バロコの絵画．その中心はフランドル，オランダ，スペインへ移行した．1はルーベンス（フランドル）．2はレムブラント（オランダ）．3はロイスダール（オランダ）．4はグレコ（スペイン）．5はヴェラスケス（スペイン）．

開口部の変遷：下段，右より左へ．ビザンティウムよりロココまでの典型．

ロ　コ　コ.

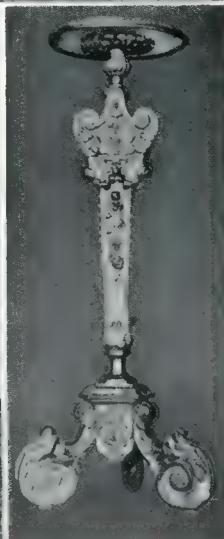
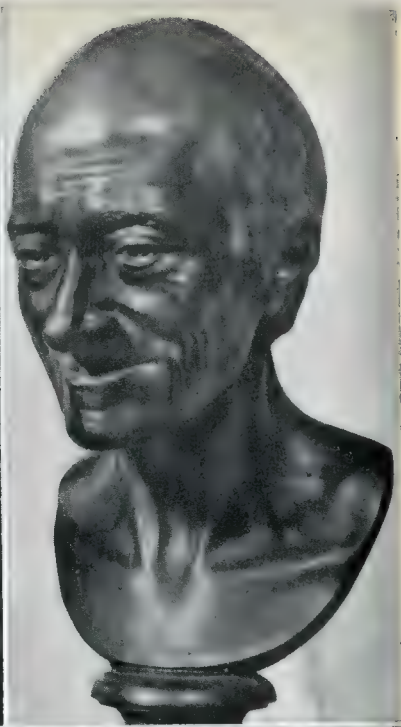
バロコへの反動．纖細にして優雅(ガラント)．歪曲性や動きを軽快に誇張．左右相称(シムメトリー)が破られる．ロココというのは貝殼入りの人造石(ロコ)から由來した稱名．

1) ティエポロ作の天井画．極度に適用した遠近法．青空に通じるような錯覚．柱もアーチも皆絵．

2, 3) ポツダムのサン・スゥシ宮の室內．ヴェルサイユ宮を模倣したもの．

4) ドレスデンのツヴィンガー(城郭の一部)．バロコからロココへの過渡．

5, 6) ルイ王朝時代のメッキされた椅子と燭台．

コマ絵はロココ意匠の例．左右不同．貝殼様の曲線．

ロ　コ　コ

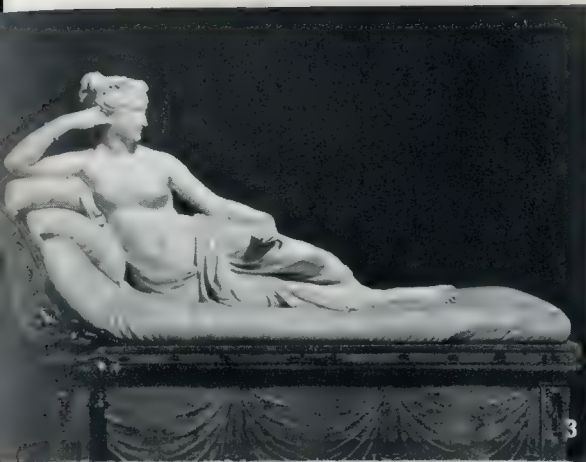
1）ヴァットー作．田園の恋．舞台装置を思わせる背景．優雅に光る繻子．

2）フラゴナール作．三美神．ギリシア女神もなまめかしい王朝の貴婦人．

3）ウードン作．ヴォルテール像．大革命を予見した皮肉な文筆家の風貌．

4）ゴヤ作．婦人像．現代絵画に先駆したスペインの鬼才が描く黒瞳朱唇．

5,6）陶器．支那趣味（シノワズリ）はロココの一要素．乳白の地に，金彩，淡紅，青緑．

コマ絵はロココの女王ポンパドゥール侯爵夫人像．

近　　　世

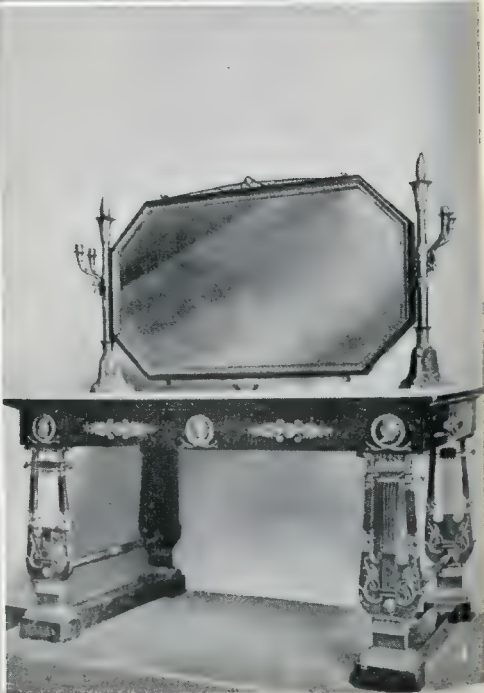
古　典　主　義

王朝は亡び共和制は成立した．‘高貴な單純と沈靜な威嚴’(ウィンケルマン)．古代精神に宿った理想がふたたび美の規範となる．明確な輪郭．彫塑的な形体の復活．色は後退した．

1)　パリのマドレェヌ寺．(14頁パルテノンと比較)．

2)　ナポレオンの凱旋門．(19頁ロマの凱旋門参照)．

3)　カノヴァ作．パオリナ・ボルゲーゼ像．4)　ダヴィド作．レカミエ夫人．5)　アングル作．オダリスク(ペルシア風の女)．主題も形式もみなギリシア風を学んでいる．

コマ絵は，古典美の詩人ゲーテ臨終の顔．月桂冠．

古典主義

1) フォイエルバッハ作. エレクトラ. 題材にも表現にも, 古典を尊ぶ精神.

2) リュード作. パリ凱旋門の浮彫. 古典の衣裳で表現された現代の事蹟.

3) イギリスのチッペンデール式椅子. ロココに反逆する古典的な直線性.

アンピール(帝政式). 4は皇后マリ・ルイズの化粧台. 金具の意匠はギリシアから. 5はセーブル陶器の壺. 古代式の様式.

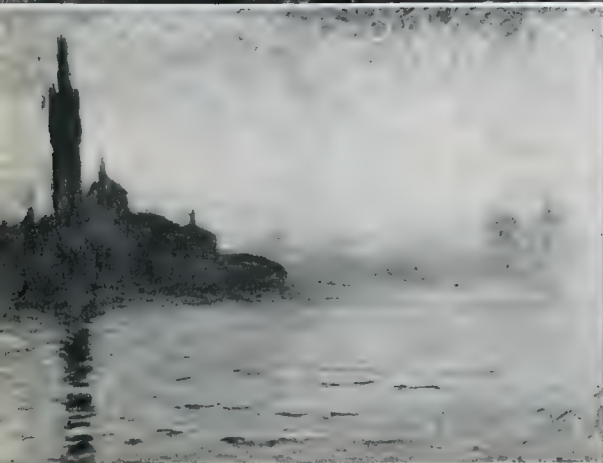
6) 聖堂型時計. 中世趣味の浪漫主義(ロマンテイク)も併存した.

7) 北欧の古典主義者トルワルセン作. キリスト.

近　世

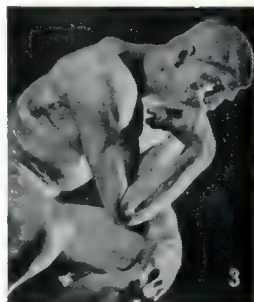
復古主義

19世紀には，過去の諸様式の復古が試みられた．′（ダッシュ）つきは19世紀の復古作．′（ダッシュ）なしはその手本．

a)　ニームのメゾン・カレエ．ロマ時代の建築．
a′)　ベルリンの中央哨舎（シンケル作）．世紀初．
b)　アミアンの大聖堂．フランス・ゴティク式．
b′)　ロンドンの議事堂．世紀後半に建てられた．
c)　フィレンツェのロッジァ．ルネサンス建築．
c′)　ミュンヘンの記念廊（ゲルトナー作）．中葉．
d)　レニングラードの聖イザック寺．世紀前半．

現代絵画の母胎

色彩は再びよみがえった．絵画の生命は色彩にあった．色を生ずるものは，光である．カンバスは戸外にもちだされた．目前の自然や生活が，宗教画や歴史画にとってかわった．レアルへの追求は絵画を文学的なこだわりから開放した．藝術の自律性は，ここに確立された．

1) ドラクロアは浪漫派の頭領．2) マネは印象派の父．3) クウルベエは，写実主義を標榜した．4) コロは自然派の詩人．5) モネは印象派の極致を極めた．6) ミレーはバルビゾン派の農民画家．

現　　代

絵　　画

1） セザンヌ．面による構成．自然は球と円錐と円筒とからなるといった．

2） ゴッホ．人間の向日性を描かんとして，太陽に灼きつくされた殉教者．

3） ロダン．造形性の限界を探求し‘地獄の門’にゆきついた彫刻の巨人．

4） ボナール．色彩の魔術師．華麗で新鮮．温雅なフランス的のエスプリ．

5） マチス．奔放な歪形から，形の単純化を経て色面による平面の構成へ．

6） ピカソ．童心と原始人．立体から抽象へ．カメレオンよ，どこへゆく．

現　　代

建　　築

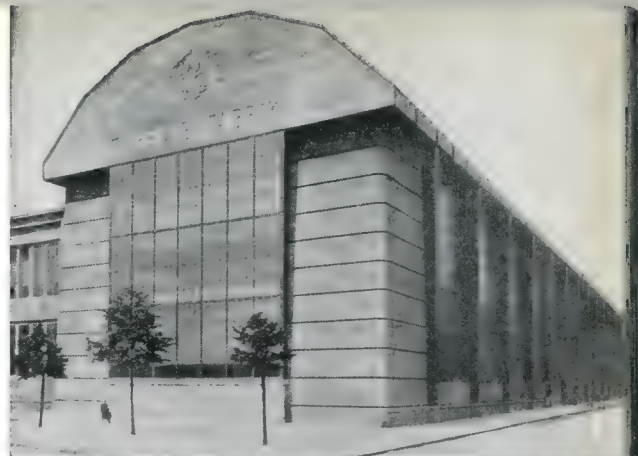
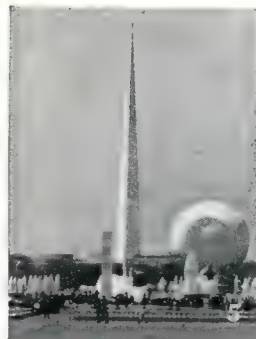
1) 工場．産業は工場建築を生んだが，初期にはその機能を隠そうとした．

2) 劇場．音響効果の装置にさえ，藝術的な外装をほどこそうと苦心した．

3) 天文台．現代科学は建築の外形にも，その科学性を誇示しようとした．

4) 貿易館．熾烈な経済機構が生む大建築．それにマッチした構造の摸索．

5) 住宅．機能と科学性との結合．住宅は住居の機械とよばれるにいたる．

6) 事務所．機能は装飾を駆逐した．能率的なものはみな美しいとされた．

1) 議事堂. 新大陸は旧大陸の古典美を移植する以外にしかたがなかった.

2) 住宅. 旧大陸の住宅はアメリカの沃野に移されコロニアル様式を生む.

3) 別荘. やがて最新の形をとりいれ, 自然を駆使してヨーロッパに挑む.

4) 摩天楼. ヤンキー魂と富は旧大陸のあえてしなかった空想を実現する.

5) 万國博覧会の塔. いかに独創を求めても造形の原理は何人も破り得ぬ.

今にのこる昔のおもかげ

商業は流行を作る

昨日のニューモードは今日のオールドファッション

人は新しきものを追う

機能は形を生む

摸　索

岩波写真文庫目録

- 1＊木綿
- 2 昆虫
- 3＊南氷洋の捕鯨
- 4＊魚の市場
- 5 アメリカ人
- 6 アメリカ
- 7 雪の結晶
- 8 写真
- 9 レンズ
- 10＊紙
- 11 蝶の一生
- 12 鎌倉
- 13 心と顔
- 14 動物園のけもの
- 15 富士山
- 16 積雪
- 17 いかるがの里
- 18 鉄
- 19＊川—隅田川—
- 20 雲
- 21 汽車
- 22＊動物園の鳥
- 23 様式の歴史
- 24 銅山
- 25 スイス
- 26 スキー
- 27 京都—歴史的にみた—
- 28 力と運動
- 29 アメリカの農業
- 30 アルプス
- 31 山の鳥
- 32 奈良の大仏
- 33 尾瀬
- 34 電話
- 35 野球の科学
- 36 星と宇宙
- 37 蚊の観察
- 38 長崎
- 39 高野山
- 40 正倉院（一）
- 41 彫刻
- 42 仏像
- 43＊化学繊維
- 44 蛔虫
- 45 野の花—春—
- 46 金印の出た土地
- 47＊東京—大都会の顔—
- 48＊馬
- 49＊石炭
- 50 桂離宮と修学院
- 51 日光
- 52＊醤油
- 53 文楽
- 54＊水辺の鳥
- 55 米
- 56 正倉院（二）
- 57＊石油
- 58 千代田城
- 59 歌舞伎
- 60 高山の花
- 61＊波
- 62 京都御所と二条城
- 63 赤ちゃん
- 64＊オーストラリア
- 65＊ソヴェト連邦
- 66 能
- 67＊造船
- 68 東京案内
- 69 平泉
- 70 手術
- 71 宮島
- 72 広島
- 73 佐渡
- 74 比叡山
- 75 阿蘇
- 76 信貴山縁起絵巻
- 77 針葉樹
- 78 近代芸術
- 79 日本の民家
- 80 季節の魚
- 81 シャボテン
- 82 新劇
- 83 郵便切手
- 84 かいこの村
- 85 伊豆の漁村
- 86 奈良—東部—
- 87 奈良—西部—
- 88 ヒマラヤ
- 89 上高地
- 90 電力
- 91 松江
- 92 動物の表情
- 93 金沢
- 94＊自動車の話
- 95 薬師寺・唐招提寺
- 96 日本の人形
- 97＊システィナ礼拝堂
- 98 美人画
- 99 日本の貝殻
- 100 本の話
- 101 戦争と日本人
- 102 佐世保
- 103 ミケランジェロ
- 104 空からみた大阪
- 105＊宗達
- 106 飛騨・高山
- 107 ゴッホ
- 108 京都案内—洛中—
- 109 京都案内—洛外—
- 110＊写楽
- 111 熊
- 112＊東京湾
- 113 汽車の窓から—東海道—
- 114 地図の知識
- 115 姫路
- 116 硫黄の話
- 117 伊勢
- 118 はきもの
- 119 隠岐
- 120 源氏物語絵巻
- 121 農村の婦人
- 122 出雲
- 123＊アルミニウム
- 124 水害と日本人
- 125 日本のやきもの
- 126＊貝の生態
- 127 イスラエル
- 128 伴大納言絵詞
- 129 瀬戸内海
- 130 飛鳥
- 131 聖母マリア
- 132＊日本の映画
- 133 能登
- 134 山形県
- 135 福沢諭吉
- 136＊利根川
- 137 鹿児島県
- 138 伊豆半島
- 139 日本の森林
- 140 高知県
- 141 チェーホフ
- 142 仏教美術
- 143 一年生
- 144 長野県
- 145 塩原
- 146 日本の庭園
- 147 木曽
- 148 忘れられた島
- 149 近東の旅
- 150 和歌山県
- 151 函館
- 152 豆
- 153 大分県
- 154 死都ポンペイ
- 155 富士をめぐる—空から—
- 156 神奈川県
- 157 柔道
- 158 戦争と平和
- 159 ソ連・中国の旅—桑原武夫—
- 160 伊豆の大島
- 161 ジョットー
- 162 熊野路
- 163 鳥獣戯画
- 164 愛媛県
- 165 やきものの町
- 166 冬の登山
- 167 埼玉県
- 168 男鹿半島
- 169 フランス古寺巡礼
- 170 滋賀県
- 171 白浜
- 172 東京国立博物館
- 173 千葉県
- 174 箱根
- 175 細胞の知識
- 176 四国遍路
- 177 村の一年—秋田—
- 178 セザンヌ
- 179 石川県
- 180 琵琶湖
- 181 仏陀の生涯
- 182 香川県
- 183 日本 -1955年10月8日-
- 184＊練習船日本丸
- 185 悲惨な歴史—ドイツ—
- 186 ボッティチェリ
- 187 東海道五十三次
- 188 離された園
- 189 松島
- 190 家庭の電気
- 191 アメリカの地方都市
- 192 五島列島
- 193 塩の話
- 194 パリの素顔
- 195 横浜
- 196 日系アメリカ人
- 197 インカ
- 198 奈良をめぐる—空から—
- 199 子供は見る
- 200 雪舟
- 201 東京都
- 202 アフガニスタンの旅
- 203 渡り鳥
- 204 群馬県
- 205 ブラジル
- 206 ルーヴル美術館
- 207 北海道（南部）
- 208 小豆島
- 209 日本 -1956年8月15日-
- 210 富山県
- 211 毛織物の話
- 212 北海道（東・北部）
- 213 自然と心
- 214 空からみた京都
- 215 世界の人形
- 216 愛知県
- 217 諏訪湖
- 218 鉄と生活
- 219 山口県
- 220 麦積山
- 221 北京
- 222 江南
- 223 四川
- 224 広州—大同
- 225 室蘭
- 226 山水画
- 227 三重県
- 228 白山
- 229 鵜飼の話
- 230 島根県
- 231 小さい新聞社
- 232 北海道（中央部）
- 233 近代建築
- 234 岡山県
- 235 ねずみの生活
- 236 札幌
- 237 日本 -1957年4月7日-
- 238 広島県
- 239 北陸路
- 240 倉敷
- 241 ギリシアの神々
- 242 長崎県
- 243 水郷—潮来—
- 244 福井県
- 245 秋吉台
- 246 子供の絵
- 247 徳島県
- 248 十勝平野
- 249 岐阜県
- 250 青森県
- 251 中国の彫刻
- 252 熊本県
- 253 秋田県
- 254 苫小牧
- 255 山梨県
- 256 新潟県
- 257 村と森林
- 258 茨城県
- 259 福島県
- 260 旭川・大雪山
- 261 大阪府
- 262 奈良県
- 263 北アルプスの山々
- 264 地形の話
- 265 静岡県
- 266 軽井沢
- 267 佐賀県
- 268 日本の社寺建築
- 269 宮崎県
- 270 十和田湖
- 271 福岡県
- 272 日本 —1958年正月—
- 273 宮城県
- 274 鳥取県
- 275 タイ -学術調査の旅-
- 276 インドシナの旅
- 277 栃木県
- 278 屋久島・種子島
- 279 岩手県
- 280 地中海の史蹟めぐり
- 281 兵庫県
- 282 キリスト
- 283 京都府
- 284 インドの一断面
- 285 沖縄
- 286 風土と生活形態

＊印は品切でございます

東京の街に西洋を拾う

パルテノン神殿東破風三女神（ギリシア古典期）

¥ 100